



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

# 佐土原ロータリークラブ週報

第720回 平成13年12月12日(水)



[本日のプログラム]

2001~2002年度 国際ロータリーのテーマ

- |        |                          |        |          |        |         |        |
|--------|--------------------------|--------|----------|--------|---------|--------|
| 1. 点 鐘 | 2. ロータリーソング<br>「手に手つないで」 | 3. 食 事 | 4. 会長の時間 | 5. 幹事報 | 6. 委員会報 | 7. 点 鐘 |
|--------|--------------------------|--------|----------|--------|---------|--------|

## 次回予告

★12月19日(水)

社会奉仕賞贈呈

宮日ハマスコミ関係  
んうけい

★12月26日(水)

親睦プログラム

## 佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日(12:30~13:30)	会長	吉田康一郎
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	宮原 建樹
事務局	宮崎県佐土原町大字下那珂3887-17 ☎880-0212	幹事	岩下 廣美
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会計	垂水 敏雄
		会報委員長	池田 仁志

# 第719回例会記録

(2001.12.5)

## ☆会長の時間

会長 吉田 康一郎 君

皆様今日は。本日は第719回の例会です。始めにビジターのご紹介を致します。西都RCの中武兵一郎君です。

ようこそ！

先週の例会で、今年もあと一ヶ月で終わりですね、と申し上げましたが、もう1週間経ってしまいまして、今年の例会も残すところ、3回になってしましました。年末は特に時間の流れが早く感じられます。

昨日、第3回の市郡の会長・幹事会が宮崎市で開かれ、担当の宮崎北RCより、来年の3月10日（日）IMを志多ガバナー補佐のもとに、JAアズムホールで開催される旨の話がありました。

時間は9:30~12:30迄で、基調講演、第一分科会、第二分科会に分かれ、例年の様な勉強会になるようです。

当クラブも山脇忍君が当時、分区代理（現在ガバナー補佐）の時、IMの開催を経験しております。

詳細のプログラムはまた、後日お知らせ致します。

そして、新世代フォーラムがその6日後の3月16日（土）に催されますが、なぜそんなに日にちが近くなかったかというとオルブライトホールの空きがなかった、とのことでした。

昨年の新世代フォーラムが当初予定していた、集客人員の3分の1にも達しなかったので、今回は前回の反省を踏まえて

悔いのないよう、運びたいとのことで、なかなかの意気込みを感じました。

また、その際の皆様のご協力をお願いしておきます。

高鍋RCが長年かかったが、ローターアクトを誕生する運びになったとの発表がありました。年明けには認証状の伝達式があるとのことです。

おめでたいことです。

それと、高鍋RCは現在会員46名だとの事ですが、今度7名の新入会員の予定があるそうです。それを聞いて各クラブの会長・幹事も大変感嘆されておりました。羨ましい限りです。

私達のクラブも大いにクラブの魅力、異業種の方々とのお付き合い、色々な勉強の機会がある事、等をアピールして会員増強を計り、メンバーを増やして行けたらいいいなーと思っております。

## ☆幹事報告

幹事代理 田村 勝二 君

### 1. 例会変更及び休会通知

①12月19日（水）の例会は忘年家族会

のため、時間 18:00~

場所 ホルメリージュ  に変更

H14年1月2日（水）は特別休会

延岡 RC

## ☆出席報告

委員長代理 田 村 勝 二 君

会 員 数	29名
例 会 出 席 者	20名
出 席 率	69%
メー クアップ 者 数	4名
修 正 出 席 率	83%
欠 席 者 名	神宮寺、宮本、柳田、後藤、太田、

## ☆国際奉仕委員会

委員長 岩 切 正 司 君

書き損じ葉書、使用済み切手、テレホンカード等、年末に向け、沢山（？）出ると思います。用意されている専用箱にどしどし入れて頂きたいと思います。

## ☆親睦委員会

委員長 福 井 輝 文 君

忘年会を計画しましたところ、十数名の方の参加の協力を頂きました。明日夕方に迎えのバスが来て、一泊して次の朝、早くに帰る予定です。

来年始めの新年家族懇親会は、場所を神宮寺会員の神宮寺ホテルで開きたいと思います。

恒例のバザーの寄付品を当クラブ会計の為に、ぜひ多数お願ひ致します。

こちらも多数のご参加をお願いしたいと思います。

## ☆会員卓話

恒 吉 正 志 君

某会社で朝礼の際、読まれている【職場の教養】(倫理研究所 1945年版)という冊子から、ピックアップして皆様に配布致しました。

### 『失敗は財産』

ナビックスライン(旧日東商船)社長 石井和夫氏の話の引用

異動は色々な仕事を経験出来る貴重な財産である。氏は大学の専攻(法律)とは全く畠違いの経理部から、財務部、そして営業部に配属され、最初は失敗の連続であったが、現在振り返るとこの失敗こそが自分を大きくしたと語る。

異動を慣れない仕事につかされる嫌な事とマイナスに捉えるか、色々な経験をさせて貰えるありがたい機会と捉えるかで、人生には大きな違いが出る。

！失敗を糧としよう！

### 『失敗を恐れない』

幾多の失敗を見事に成功に生かした、故本田宗一郎氏の言葉

「定年退職の挨拶で、しばしば、大過なく過ごしましてなどというが、実にくだらん。すいぶん失敗もしましたが、大きな仕事をやってのけましたと、挨拶出来るようでなければだめである」人はなるべく失敗失敗したくないという気持ちが強い、しかし、現実には仕事においても、家庭においても、ことの大小の差はあれ、失敗はつきもの。ところがその度毎に、悔やみ、人を責め、心を暗くして、自分の能力を疑ったり、クヨクヨしても何の役にも立たない。失敗をしたということは苦い経験であるかもしれないが、その経験は尊い。

！同じ失敗を繰り返さない！

### 『習うより慣れろ』

教わったり習っただけでは自分のものにはならないが、何度もやって体が慣れれば自然に身につく。

現場で既に実績を積んでいる先輩たちに敬意を払い、謙虚に教えを請う姿勢を大切にしたい。

！身体で覚えよう！

## 『交通安全三ヵ条』

車の便利さはいまさらいうまでもありませんが、でも扱いをちょっと誤ると走る凶器となります。

「1日に2~3度は、ひやりとさせられる」とはベテランドライバーの多くが感じているとのこと。警察では次の安全三ヵ条を提唱。

- ① 交差点でこそ最大の注意を。交通事故の80%が交差点での一時停止無視と出会い頭の衝突によるもの。
- ② ヒヤッとした経験を大切に。運転中、一度や二度はヒヤッとした経験を誰でももっている。その時は大丈夫でも、次が無事という保証はない。
- ③ 運転中の一瞬は、日常の一瞬ではない。車は走る凶器だけに、慎重の上にも慎重であるべき。

！**走行中は携帯電話は使用しない！**

## 『嫌われる秘訣』

1. 相手の話を、決して長くは聞かないこと。
  2. 終始、自分のことだけをしゃべること。
  3. 相手が話している間に、何か意見があれば、すぐに話をさえぎること。
  4. こちらより頭の回転が鈍い相手のくだらない話をいつまでも聞いている必要はない。話の途中で遠慮なく口をはさむこと。
- (D・カーネギー著「人を動かす」より)

人に嫌われたい人は上記4つを厳守すること

D・カーネギーは話し方教室の元祖とされる人ですが、彼が最も力説したのが、「相手の話を徹底して聞く」ことでした。積極的傾聴こそ、人に好かれ、人を熱烈に動かす原理だということです。

この4項の逆をやれば、人から好かれるというわけです。どんな相手の話でも、聞かせて頂くという気持ちを大切に。

！**自己中はいけません！**

## 『論語読みの論語知らず』

書物の上だけでいくら物事を知っていても、実行しなければ何にもなりません。スローガンや社訓をただ何となく、齊唱するのではなく、実行するという強い信念を持つ事が大切です。

！**知識と実行を伴おう！**



## 健康ひとくちメモ

(ロータリーの友より)

病気と仲良く、先生の言うことをきき、多少の運動をする。

新潟東 野口 弘義

### 三かく運動

- ①字をかく（毎日日誌記入）
- ②汗をかく（週2、3回のゴルフ）
- ③恥じをかく（ストレスをためない）

東京福城 山本 英司

周年、お茶の間ラジオ体操。朝、小型洗面器で清水に顔を入れ、鼻から水を吸い、口から吐く。食後必ず果物一口。納豆、卵、醤油不用。

網走西 新谷 泰造

黒酢30CC、はちみつ適量をお湯にとかし、冷やして飲む。あついとにおいが鼻にさすので注意。50才以上のゴルファーに最適、体の曲転に良好。

中津中央 進 保政

### よく眠り歩くこと。

新潟東 廣川 瞳永

毎日必ず、しっかりと約30分歩く。

綾部 梅原 康

腹八分に欲八分。古くから言われているが実行できるロータリアンは何人？

東京町田 久保田政雄

スポーツクラブに入って、市民スポーツの育成に協力すること、若者とのスポーツ交流で自然と健康増進。

綾部 有